

単元評価規準と小単元評価規準

研究事例	第3章 ビジネスと流通活動 株式の投資を学習する授業展開例			
単元名	第3章ビジネスと流通活動 1 経済活動と流通 2 流通活動の特徴 3 流通活動と企業 4 ビジネスの担当者			
単元の目標	生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関連するビジネスの担当者を取り上げて、その活動の概要について理解させる。			
単元の評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者に関心をもち、その活動の概要について、自らすすんで調べたり、まとめたりしようとする。	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者について、様々な角度から主体的かつ客観的に考察するとともに、その活動の概要をとらえようと考察する。	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者に関する様々な資料を適切に選択して活用し、その活動の概要を客観的に把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明することができる。	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者について基礎的・基本的な知識を身に付け、その活動の概要を理解している。

小単元名	4 ビジネスの担当者（15時間）			
小単元の目標	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者を取り上げて、その活動の概要について理解させる。			
小単元の評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者に関心をもち、その活動について、自らすすんで調べたり、まとめたりしようとする。 特に証券会社の投資業務の株式売買に意欲的である。	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者について、様々な角度から主体的かつ客観的に考察するとともに、その活動の概要をとらえようとする。 特に証券会社の投資業務の株式売買を考察している。	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者様々な資料を適切に選択して活用し、実際の流通活動を客観的に把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明することができる。特に証券会社の投資業務の株式売買を説明できる。	生産者、卸売、小売業、金融・保険業、運輸・サービス業など流通に関するビジネスの担当者に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その活動の概要を理解している。 特に証券会社の投資業務の株式売買を理解している。

小単元の指導と評価の計画

小単元「ビジネスの担当者」の指導と評価の計画

授業の流れ			一次 生産者のビジネスを知ろう（2時間） 二次 売買業者のビジネスを知ろう（3時間） 三次 物流業者のビジネスを知ろう（2時間） 四次 金融業者のビジネスを知ろう（2時間） 五次 保険業者のビジネスを知ろう（2時間） 六次 情報・通信業者のビジネスを知ろう（2時間） 七次 サービス業者のビジネスを知ろう（2時間）			
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
1	1	・生産者の役割は何かを理解する。 ・生産者の種類にはなにがあるのか理解する。	・生産者の役割は何か関心を持ち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・生産者の種類には何があるか関心を持ち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・生産者の役割を生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・生産者の種類を年代別でまとめ区別しようと考察している。（ノート記述）	・生産者の役割を説明できる。 ・生産者の種類にはどのような種類があるか区別して説明できる。（対話）	・生産者の役割を理解している。 ・生産者の種類にはどのような種類があるかその区別を理解している。（対話・ワークシート）
	2	・生産者のビジネスでは何に注意しなければいけないかを理解する。 ・生産者の今後の動向になにがあるのか理解する。	・生産者のビジネスで何を注意しなければいけないのか関心を持ち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・生産者の今後の動向について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・生産者のビジネスを生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・生産者の今後の動向についてまとめようと考察している。（ノート記述）	・生産者のビジネスを説明できる。特に、製造物責任法についてその内容説明できる。 ・生産者の今後の動向について説明できる。（対話）	・生産者のビジネスを理解している。特に、製造物責任法について理解している。 ・生産者の今後の動向について理解している。（対話・ワークシート）

小単元「ビジネスの担当者」の指導と評価の計画

		授業の流れ	一次 生産者のビジネスを知ろう（２時間） 二次 売買業者のビジネスを知ろう（３時間） 三次 物流業者のビジネスを知ろう（２時間） 四次 金融業者のビジネスを知ろう（２時間） 五次 保険業者のビジネスを知ろう（２時間） 六次 情報・通信業者のビジネスを知ろう（２時間） 七次 サービス業者のビジネスを知ろう（２時間）			
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者の役割は何かを理解する。 ・小売業者の種類にはなにがあるのか理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者の役割は何か関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・小売業者の種類には何があるか関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者の役割を生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・小売業者の種類を年代別でまとめ区別しようと考察している。（ノート記述） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者の役割を説明できる。 ・小売業者の種類にはどのような種類があるか区別して説明できる。（対話） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者の役割を理解している。 ・小売業者の種類にはどのような種類があるかその区別を理解している。（対話・ワークシート）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者のビジネスでは何に注意しなければいけないかを理解する。 ・小売業者の今後の動向になにがあるのか理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者のビジネスで何を注意しなければいけないのか関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・小売業者の今後の動向について関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者のビジネスを生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・小売業者の今後の動向についてまとめようと考察している。（ノート記述） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者のビジネスを説明できる。 ・小売業者の今後の動向について説明できる。（対話） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業者のビジネスを理解している。 ・小売業者の今後の動向について理解している。（対話・ワークシート）
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者の役割は何かを理解する。 ・卸売業者の種類にはなにがあるのか理解させる。 ・卸売業者のビジネスでは何に注意しなければいけないかを理解する。 ・卸売業者の今後の動向になにがあるのか理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者の役割は何か関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・卸売業者の種類には何があるか関心をもち、意欲的に調べようとしている。 ・卸売業者のビジネスで何を注意しなければいけないのか関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・卸売業者の今後の動向について関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察） 	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者の役割を生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・卸売業者の種類をまとめようとしている。 ・卸売業者のビジネスを小売業者の立場でとらえようと考察している。 ・卸売業者の今後の動向についてまとめようと考察している。（ノート記述） 	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者の役割を説明できる。 ・卸売業者の種類にはどのような種類があるか区別して説明できる。 ・卸売業者のビジネスを説明できる。 ・卸売業者の今後の動向について説明できる。（対話） 	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者の役割を理解している。 ・卸売業者の種類にはどのような種類があるかその区別を理解している。 ・卸売業者のビジネスを理解している。 ・卸売業者の今後の動向について理解している。（対話・ワークシート）

小単元「ビジネスの担当者」の指導と評価の計画

		授業の流れ	一次 生産者のビジネスを知ろう（２時間） 二次 売買業者のビジネスを知ろう（３時間） 三次 物流業者のビジネスを知ろう（２時間） 四次 金融業者のビジネスを知ろう（２時間） 五次 保険業者のビジネスを知ろう（２時間） 六次 情報・通信業者のビジネスを知ろう（２時間） 七次 サービス業者のビジネスを知ろう（２時間）			
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
3	1	・物流業者の役割は何かを理解する。 ・物流業者の種類にはなにがあるのか理解する。	・物流業者の役割は何か関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・物流業者の種類には何があるか関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・物流業者の役割を生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・物流業者の種類を年代別でまとめ区別しようとして考察している。（ノート記述）	・物流業者の役割を説明できる。 ・物流業者の種類にはどのような種類があるか区別して説明できる。（対話）	・物流業者の役割を理解している。 ・物流業者の種類にはどのような種類があるかその区別を理解している。（対話・ワークシート・小テスト）
	2	・物流業者のビジネスでは何に注意しなければいけないかを理解する。 ・物流業者の今後の動向になにがあるのか理解する。	・物流業者のビジネスで何を注意しなければいけないのか関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・物流業者の今後の動向について関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・物流業者のビジネスを生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・物流業者の今後の動向についてまとめようと考察している。（ノート記述）	・物流業者のビジネスを説明できる。 ・物流業者の今後の動向について説明できる。（対話）	・物流業者のビジネスを理解している。 ・物流業者の今後の動向について理解している。（対話・ワークシート・小テスト）
4	1	・金融業者の役割は何かを理解する。 ・金融業者の種類にはなにがあるのか理解する。 ・金融業者のビジネス、特に銀行のビジネスを理解する。	・金融業者の役割は何か関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・金融業者の種類には何があるか関心をもち、意欲的に調べようとしている。 ・銀行のビジネスに関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。（観察）	・金融業者の役割を生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・金融業者の種類を年代別でまとめ区別しようとして考察している。 ・銀行のビジネス、特に三大業務などをまとめようと考察している。（ノート記述）	・金融業者の役割を説明できる。 ・金融業者の種類にはどのような種類があるか区別して説明できる。 ・銀行のビジネス、特に三大業務など説明できる。（対話）	・金融業者の役割を理解している。 ・金融業者の種類にはどのような種類があるかその区別を理解している。 ・銀行のビジネス、特に三大業務など理解している。（対話・ワークシート）
4	2	・金融業者のビジネス、特に証券会社のビジネスを理解する。 ・金融業者の今後の動向になにがあるのか理解する。	・証券会社のビジネスに関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・金融業者の今後の動向について関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・証券会社のビジネス、特に株式などの売買について株式学習ゲームでまとめようと考察している。 ・金融業者の今後の動向についてまとめようと考察している。（ノート記述）	・証券会社のビジネス、特に株式などの売買について株式学習ゲームを通じて説明できる。 ・金融業者の今後の動向について説明できる。（対話）	・証券会社のビジネス、特に株式などの売買を株式学習ゲームを通じて理解している。 ・金融業者の今後の動向について理解している。（対話・ワークシート）

小単元「ビジネスの担当者」の指導と評価の計画

		授業の流れ	一次 生産者のビジネスを知ろう（２時間） 二次 売買業者のビジネスを知ろう（３時間） 三次 物流業者のビジネスを知ろう（２時間） 四次 金融業者のビジネスを知ろう（２時間） 五次 保険業者のビジネスを知ろう（２時間） 六次 情報・通信業者のビジネスを知ろう（２時間） 七次 サービス業者のビジネスを知ろう（２時間）			
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
5	1	・保険業者の役割は何かを理解する。 ・保険業者の種類にはなにがあるのか理解する。	・保険業者の役割は何か関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・保険業者の種類には何があるか関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・保険業者の役割を生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・保険業者の種類を年代別でまとめ区別しようとして考察している。（ノート記述）	・保険業者の役割を説明できる。 ・保険業者の種類にはどのような種類があるか区別して説明できる。（対話）	・保険業者の役割を理解している。 ・保険業者の種類にはどのような種類があるかその区別を理解している。（対話・ワークシート・小テスト）
	2	・保険業者のビジネスでは何に注意しなければいけないかを理解する。 ・保険業者の今後の動向になにがあるのか理解する。	・保険業者のビジネスで何を注意しなければいけないのか関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・保険業者の今後の動向について関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・保険業者のビジネスを生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・保険業者の今後の動向についてまとめようと考察している。（ノート記述）	・保険業者のビジネスを説明できる。 ・保険業者の今後の動向について説明できる。（対話）	・保険業者のビジネスを理解している。 ・保険業者の今後の動向について理解している。（対話・ワークシート・小テスト）
6	1	・情報・通信業者の役割は何かを理解する。 ・情報・通信業者の種類にはなにがあるのか理解する	・情報・通信業者の役割は何か関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・情報・通信業者の種類には何があるか関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・情報・通信業者の役割を生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・情報・通信業者の種類を年代別でまとめ区別しようとして考察している。（ノート記述）	・情報・通信業者の役割を説明できる。 ・情報・通信業者の種類にはどのような種類があるか区別して説明できる。（対話）	・情報・通信業者の役割を理解している。 ・情報・通信業者の種類にはどのような種類があるかその区別を理解している。（対話・ワークシート）
6	2	・情報・通信業者のビジネスでは何に注意しなければいけないかを理解する。 ・情報・通信業者の今後の動向になにがあるのか理解する。	・情報・通信業者のビジネスで何を注意しなければいけないのか関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・情報・通信業者の今後の動向について関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察）	・情報・通信業者のビジネスを生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・情報・通信業者の今後の動向についてまとめようと考察している。（ノート記述）	・情報・通信業者のビジネスを説明できる。 ・情報・通信業者の今後の動向について説明できる。（対話）	・情報・通信業者のビジネスを理解している。 ・情報・通信業者の今後の動向について理解している。（対話・ワークシート）

小単元「ビジネスの担当者」の指導と評価の計画

		授業の流れ	一次 生産者のビジネスを知ろう（２時間） 二次 売買業者のビジネスを知ろう（３時間） 三次 物流業者のビジネスを知ろう（２時間） 四次 金融業者のビジネスを知ろう（２時間） 五次 保険業者のビジネスを知ろう（２時間） 六次 情報・通信業者のビジネスを知ろう（２時間） 七次 サービス業者のビジネスを知ろう（２時間）			
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者の役割は何かを理解する。 ・サービス業者の種類にはなにがあるのか理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者の役割は何か関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・サービス業者の種類には何かがあるか関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者の役割を生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・サービス業者の種類を年代別でまとめ区別しようと考察している。（ノート記述） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者の役割を説明できる。 ・サービス業者の種類にはどのような種類があるか区別して説明できる。（対話） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者の役割を理解している。 ・サービス業者の種類にはどのような種類があるかその区別を理解している。（対話・ワークシート）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者のビジネスでは何に注意しなければいけないかを理解する。 ・サービス業者の今後の動向になにがあるのか理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者のビジネスで何を注意しなければいけないのか関心をもち、意欲的に調べたりまとめようとしている。 ・サービス業者の今後の動向について関心をもち、意欲的に調べようとしている。（観察） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者のビジネスを生産者としての立場でとらえようと考察している。 ・サービス業者の今後の動向についてまとめようと考察している。（ノート記述） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者のビジネスを説明できる。 ・サービス業者の今後の動向について説明できる。（対話） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者のビジネスを理解している。 ・サービス業者の今後の動向について理解している。（対話・ワークシート）

學習指導案

[illegible]

〈指導上のポイントと考察〉

金融業者の中の取り扱い上、銀行の役割が多く、証券会社の役割がページ数として少ない。特に有価証券の売買においては、簿記での仕訳にすぎない。株式や社債などの売買とはどのようなものなのか模擬的にも知ることができ、日常行われている投資を身近に理解できる。そのためには新聞記事や会社自体を知ることが必要になる。継続した取り組みが必要となるが、社会の情勢をつかむことができる。

この時間はその使い方を理解するためのものである。

毎時間利用することは必要ではないが、社会情勢や経済状況を理解し、株式や社債の値動きに興味や関心を持てるようになれば投資、有価証券などが理解できる。

注1：講義中心の一方的な授業になりやすいので、生徒に主体性を持たせるため、株式学習ゲームを活用した。

注2：ログインするまでにパスワードやチーム名を登録しておくことに注意する。

注3：机間指導をしながら生徒の考えや状況を把握し、授業展開に反映していく。

注4：資料が膨大な量になるので取捨選択をする。

注5：グループでの話し合いがスムーズになされているのか助言をするとともに、あらかじめ司会者を決めておく。

注6：インターネット上のログイン画面でのパスワード、チーム名の入力について気をつける。

※ 参考サイト 株式学習教材 www.ssg.ne.jp/webh.html
(主催) 日本証券業協会 / 東京証券取引所 / 証券広報センター
(後援) 金融庁

実習する画面



学習の手引き

1. 取引を始める前に…(ご担当の先生方へ)
2. ルールを守って取引をしよう
3. 売買例
4. 「取引結果一覧」の見方
5. チーム順位表&エラーコード一覧表
6. 知っておきたい株式欄の見方
7. 参加申し込みの手順
8. 参加申込書
9. トラブルに関するQ&A
10. 参加を検討されている先生方へ

株式学習ゲームページ

7. 参加申し込みの手順

1. 所定の参加申込書に必要事項を記入し、証券広報センター・教育事業部へFAXで送信してください。
2. 参加申込受付後、学校コードとチーム名を登録するためのパスワードを先生宛にFAXで送信します。
教材は別途、学校宛に宅急便でお送りします。
3. チーム編成、チーム名を決め、トップページの1番下の「チーム登録のページ」(緑のボタン)をクリックして学校コード、学校パスワードを入力し、チーム名登録の手続きをしてください。
4. チーム名登録の手続きをした翌日以降(土日祝日を除く)に、各チームのチームコードとパスワードを確認してください。
確認方法は、トップページの「ログインページ」より、先生専用コードとパスワードを入力して「取引結果一覧」をクリックすると、各チームのパスワードを見ることができます。
パスワードを確認できたら、各チームにそれぞれのパスワードをお知らせのうえ、取引を開始してください。
5. 取引結果を確認する際にも、学校コード、学校パスワード、チームコード、チームパスワードが必要になります。

参加申し込みの手順画面

2. ルールを守って取引をしよう

1. 【コースを確認しよう】

まず、皆さんのクラスはAコース(売買に伴う証券会社に支払う売買手数料や税金を計算しない)か、Bコース(売買に伴う手数料や税金を差し引く)のどちらかを確認してください。

2. 【参加期間を確認しよう】

参加期間は、学校ごとに決められています。

[戻る](#)

3. 【元手は1000万円】

元手となる仮想所持金1,000万円が各チームに割り当てられます。株の買付を行うたびに買付代金が元手から差し引かれ、「手持ち現金残高」として「取引結果一覧」に表されます。「手持ち現金残高」が足りない場合、次の買付は出来ません。しかし、いったん買付けた株を売却すれば、売却代金が「手持ち現金残高」にプラスされ、その分新たな株を買うことができます。

[戻る](#)

① ルールについて

ログインページ(認証の入力)

学校パスワード/コードとチームパスワード/コードを入力してください。

▽半角英数で入力されている事を確認してください。
▽大文字小文字を確認してください。

学校パスワード :

学校コード :

チームパスワード :

チームコード :

[戻る](#)

ログイン画面

3. 売買例

次の売買例で、どのように計算するのか見てみましょう。なお、売買例は、全て成行注文の例です。

購入例その1…4月12日(月)

初めて購入する銘柄は任天堂(コード:7974)で、200株購入する。コンピュータが入力された注文を読み取り、次のような計算をする。この日の終値は21,500円だった。

ステップ1. 購入代金を計算する。

Aコースの場合: $21,500 \text{円} \times 200 \text{株} = 4,300,000 \text{円}$

Bコースの場合: $21,500 \text{円} \times 200 \text{株} + (21,500 \text{円} \times 200 \text{株} \times 0.5\%) \times 1.05 = 4,322,575 \text{円}$

委託手数料

消費税

ステップ2. 手持ち現金部分を計算する。

Aコースの場合: $10,000,000 \text{円} - 4,300,000 \text{円} = 5,700,000 \text{円}$

Bコースの場合: $10,000,000 \text{円} - 4,322,575 \text{円} = 5,677,425 \text{円}$

ステップ3. チームの資産を計算する。

Aコースの場合: $4,300,000 \text{円} + 5,700,000 \text{円} = 10,000,000 \text{円}$

Bコースの場合: $4,300,000 \text{円} + 5,677,425 \text{円} = 9,977,425 \text{円}$

② 売買取引例

4. 「取引結果一覧」の見方

売買状況や保有株式の時価評価額について「取引結果一覧」としてホームページ上で確認できます。

この「取引結果一覧」は主に、以下の2つの部分から成っています。

a. 取引報告書

1. 売買した銘柄
2. 売りが買いかの別
3. 売買を行った日
4. 売買株数
5. 1株の売買値段
6. 売買代金(株価×株数)
7. 証券会社に支払う売買の委託手数料(Bコースを選択した場合)及び消費税
8. ネットでの購入・売却代金
9. 売買に伴って増減する手持ち現金の額
10. エラーコード(エラーがあった場合のみ表示)
11. 現在の手持ち現金の残高
12. エラーコードとエラーの理由(エラーがあった場合のみ表示。エラーの種類などに
ついては「エラーコード一覧表」を参照して下さい)



b. 保有株式の状況

[戻る](#)

③ 取引結果の見方

売買データ入力

学 校 名 岐阜県立明智商業高等学校
チー ム 名 : koji

売買日付2005年 02月 01日

番号	売/買/なし	銘柄コード	株数
1.	○ ○ ○	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2.	○ ○ ○	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3.	○ ○ ○	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4.	○ ○ ○	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5.	○ ○ ○	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6.	○ ○ ○	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7.	○ ○ ○	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8.	○ ○ ○	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ログイン後のデータ入力画面

6. 知っておきたい株式欄の見方

1. 新聞の株式欄の見方

上場している会社の株価を知りたい時には、新聞の株式欄という証券市場に関するページを見ましょう。そこには、証券取引所で売買されている銘柄の株価の動きや売買高などの情報が日々掲載されています。

その中で、前日の株価の動きを一覧にした相場表は、自分が買った会社の株価を知るために毎日チェックしましょう。相場表は各銘柄が業種別に分けられ、証券コード番号順に掲載されています。それでは、日本経済新聞を例にとってその見方を説明していきましょう。

1. 銘柄(めいがら)

略称が使われ、日本水産は日水、帝国石油は帝石などと書かれています。

また、銘柄名の左にあるアルファベットは売買単位が1000株以外であることを表しています。

A = 100株 B = 1株 C = 10株
D = 50株 E = 500株 F = 2000株
G = 3000株 (日本経済新聞の場合)

2. 始値(はじめね)

その日の最初に成立した値段。

銘柄	始値	前日比	売買高
水産	182	▲1	966
ニデロ	144	▲1	191
日水	250	▲1	1494
マルハ	156	▲1	984
サカタ	1191	▲2	29.0
オキタ	1680	▲11	91.9
三井山	150	0	292.0
住友炭	76	0	227.0
日鉄鉱	810	0	68
三井物産	168	▲2	187
帝石	479	▲8	1068

⑤ 株式欄の見方について

取引結果一覧

学校名 岐阜県立明智商業高等学校

チーム koji

Bコース 2005年 1月31日現在
単位(円)

a. 取引報告書

コード	銘柄名	売買	約定日	株数	単価	金額	手数料	実渡金額	手持ち現金	エラー
2810	ハウス食	買	10月7日	1,000	1,471	1,471,000	7,722	1,478,722	8,521,278	
1914	任天堂	買	10月7日	200	12,750	2,550,000	13,387	2,563,387	6,957,891	
4901	富士通	買	10月8日	200	3,780	756,000	3,969	759,969	5,197,922	
4523	エーザイ	買	10月12日	200	3,240	648,000	3,402	651,402	4,546,520	
5002	昭和シェル	買	10月12日	200	1,036	207,200	1,087	208,287	4,338,233	
2593	伊藤園	買	10月13日	300	4,800	1,440,000	7,560	1,447,560	2,890,673	
7751	キャン	買	10月21日	100	5,190	519,000	2,724	521,724	2,368,949	

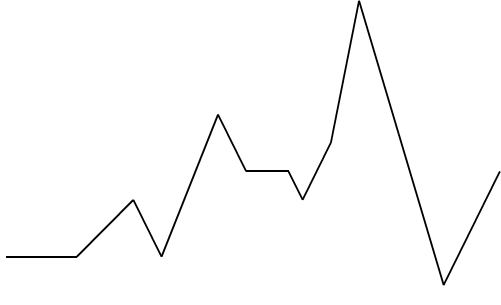
手持ち現金残高 2,368,949

エラー

売買取引結果の画面

※ 銘柄の選択については、教材として資料が送付されるのでその中から選択するか、新聞掲載されている銘柄を選択するかあらかじめ決めておくとい。

ワークシート例 (買い理由や売り理由とともに株価指標を作成する)

銘柄「 <input type="text"/> 」	買い理由 <input type="text"/>
	売り理由 <input type="text"/>
月日 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	評価 <input type="text"/>

1. 取引を始める前に…（ご担当の先生方へ）

資料 1

1. 【チームの編成】

チームごとに売買成績を競う形となりますので、取引開始前に、生徒をいくつかのチームに分けていただく必要があります。1チームあたりの人数は、3～4名をお願いしていますが、全体の参加生徒数が20名以下などの少人数の場合は、1チームあたり1～2名でも構いません。

チームが決まりましたら、各チームの名前を決めてください。コンピュータに登録いたします。

2. 【参加期間の設定】

取引の開始日と最終日を決めていただく必要があります。期間については、授業との関わり合いや、生徒の集中力の持続期間などを勘案して、先生のご判断で自由にお決めください。ただ、あまりにも短い期間の設定では株価の動きが出てきませんので、最低でも4週間程度は必要と思われます。ちなみに、既参加校の平均実施期間は13週間でした。

参加期間中の売買頻度も自由に決めていただいて結構です。ほとんどの学校では、週に1回程度ですが、隔週での売買なども可能です。また、授業展開や取り組み方によって、フルに授業時間を使うケースや授業のうち15分程度を利用するケースなどさまざまです。

□実施期間□春季 4月12日（月）～7月16日（金）、秋季 9月6日（月）～12月17日（金）冬季 1月11日（火）～2月28日（月）ですが学校独自の期間設定可能です。

3. 【コースの設定】

売買代金の計算方法は、売買代金のみを計算するAコースと、実際の売買と同じように、証券会社に支払う売買委託手数料や各種税金を計算に入れるBコースがあります。どちらのコースで実施するかを予め選択する必要があります（チームごとに異なったコースを選択することは出来ません）。なお、一般的には、中学ではAコース、高校ではBコースを選択するケースが多いようです。

Bコースを選択した場合の手数料や税金の計算は、現実の計算とは若干異なっています。証券会社が徴収する売買委託手数料は、1999年10月から自由化されています。そのため、証券会社によって、また、インターネットで注文を出すのか、店頭や電話で注文を出すのかで、手数料はまちまちです。そこで、この教材では、手数料を売買代金の一律0.5%としており、これに5%の消費税を加算しています。

また、株式を売却した時に課税される譲渡益課税についても申告分離課税により、実際の取引では1年間で生じた売却益に対して10%の税率で課税されますが、この教材では、資産合計が元手の1,000万円を超えていた場合に、その超えている部分に対して、10%の税率で課税します。売却時や、個々の銘柄で利益を出しているかどうかでは課税はいたしません。ただしシステムの都合上、参加期間中に資産合計が1,000万円を超えている場合は、その超過分について10%の譲渡益税額が「取引結果一覧」に表示されます。

4. 【売買データの入力】

ログインしてから、メニューの「売買データ入力」をクリックし、「売り」か「買い」か、銘柄コード、株数を入力して売買を行ないます。入力可能時間は、平日の8時30分から16時30分までです。

なお、同一日に何度か売買データを入力して送信した場合、トラブルを避けるため、最初に送信したデータは無効になります。最初の注文を生かしたい場合は、2回目に送信する際にも最初の注文を入力して送信してください。

最後に送信した売買データだけが有効になります。

5. 【取引結果一覧・順位表】

入力した売買内容は、入力した日の翌日以降、メニューの「取引結果一覧」で確認できます。また、「チーム順位表」では、手持ち現金残高と保有株式の時価評価額を合算した資産合計額で順位が表示されます。参加最終日時点での資産合計額が最も多かったチームが優勝です。

6. 【株式分割・配当落ちについて】

1株を1.1株や2株等に分割（細分化）する「株式分割」が行なわれると、持ち株数は増えますが、株価はその分下がることになります。当教材では整数倍の株式分割があると、コンピュータが自動的に持ち株を増やしたり、整数倍未満の株式分割の場合は、その分を売却して手持ち現金を増やすなど、不利にならないよう処理します。

しかし、買付銘柄に対し、保有期間中に配当が支払われた場合は「配当落ち」といって、配当の分だけ株価は下がることになりますが、当教材ではこの配当部分は計算に入れません。

7. 【指値注文について】

売買の注文を出す時は、その日の終値で必ず売買したいという「成行（なりゆき）注文」と、いくら以上でないと売らないとか、いくら以下でないと買わないという「指値（さしね）注文」の2通りがあります。

通常の「売買データ入力」の画面では、成行注文のみに設定してあり、自動的に終値で売買されるようになっています。もし、クラスで指値注文で注文を出したいという希望があれば、東京証券取引所広報グループ（03-3665-1881）または証券広報センター教育事業部（03-3667-8029）にご連絡ください。

8. 【年を越える参加について】

現実の株式投資は、投資期間が何年、時には何十年という長期になればなるほど、値下がりによるリスクを避けることが容易になると言われています。

そこで、年度を越えて継続することが可能であり、それを望む学校に対しては、その年の取引データを保存して、同じ持ち株のまま翌年度以降も取引を続けること、または再開することが可能です。ご希望の先生は、証券広報センター教育事業部（電話03-3667-8029）までご連絡ください。